

令和3年度 青森県立黒石商業高等学校 経営方針

校訓
自戒・慈愛・寛容

教育目標
本校の創立からの基本精神である「誓いのことば」の実践により、社会に貢献できる心豊かな人を育成する。

学校生活の基本方針
本校創立からの基本精神である「誓いのことば」を自ら進んで実践し、実り多い学校生活を送り、自己の確立と夢や目標の実現を目指す。

「誓いのことば」
1 「自戒・慈愛・寛容」を信条とし 自らにきびしく 他人の痛みのわかる心豊かな人となるよう 互いにはげましあおう
2 社会の一員としての自己確立のため 一日一日の生活をたいせつに積みあげて 自らの可能性を引き出し 学ぶ喜びを創りだそう
3 本校の歴史と伝統は われわれのみがつくるものであることを自覚し 二度とない青春をたぎらせてこれにあたろう

基礎・基本の徹底と専門的知識・技能の習熟

- 「わかって、できて、楽しい」授業の実践
- 言語活動を充実させた授業の実践
- 学習習慣の育成
- 資格試験等への積極的な挑戦と取得
- 朝自習の活用

- 生徒の現状を的確に把握し、やる気を引き出し（動機づけ）できるを導き（スモールステップでの達成感）更なる学習意欲を育む（自発的学習）授業を実践する。
- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業を実践する。
- 各教科内で身に付けさせる力、その到達度を明確にし、それに即した適正な評価を行う。
- 朝自習や家庭学習の課題内容等を工夫する。
- 学年・進路指導部・各教科が連携し、朝自習の内容を充実させる。
- ICTの有効活用

- 授業で生徒が主体的に表現する場面の設定
- 生徒による評価アンケートの肯定的評価
- 資格試験受験者数、取得率
- 生徒一人当たりの家庭での平均学習時間
- 生徒一人あたりの年間読書数
- 朝自習の効果

自主性・主体性の育成

- キャリア教育の充実と主体的な進路選択
- 自己指導能力の育成
- 生徒会活動・学校行事・部活動等への積極的参加と充実。リーダーの育成。

- 進路指導部と学年との連携、進路指導委員会の機能の活性化、三者面談の実施など計画的・段階的なキャリア教育・進路指導を展開する。
- 「考える」ことを起点とし自ら行動することを習慣づけるために、適切なアプローチ・プラスの言葉がけを実践する。
- 手帳の活用
- 集団への所属感や連帯感を深め、社会で生きていくために必要なスキルを身に付けさせる。
- お互いの存在を認め合う望ましい人間関係を築きいじめのない学校を作る。

- 進路達成率
- 容儀、携帯電話等違反者数
- 各種行事に対する肯定的評価
- 生徒が生き生きと活動する姿
- いじめ防止に係るアンケート

保護者・地域に愛される学校

- 積極的な情報発信
- 積極的な地域貢献
- 苦言・提言・要望等への真摯な対応

- 三者面談・学年保護者会・公開授業の実施やHP・黒商新聞「蔦若葉」・通信等の情報発信で、保護者に本校の教育活動を知ってもらう。
- 閉校に向けた組織的な取組
- 地域の行事等に積極的に関わる他、一人一つ以上のボランティアで、地域とともに学ぶ。
- 保護者の事情や心情に寄り添った対応、聴くことを重視した対応
- 来校者や電話等への丁寧な対応
- 安心・安全な教育環境の維持
- 私費の適正執行

- 情報発信の回数
- 地域行事への参加者数
- ボランティア活動参加者数
- 新聞記事等掲載数
- 保護者アンケートの肯定的評価
- 地域からの肯定的評価

教職員の資質向上

- コミュニケーション・対話の充実
- 主体的に学び続ける教職員集団
- 違法行為ゼロ

- 目指すコミュニケーション
「単なる情報交換ではなく、人の感情・思いや主張を聴きとりながら、意思の疎通や気持ちの通い合いがとれること。自分の考えをうまく伝えるだけでなく、相手の声に耳を傾け、更にはそこから何かが創造されること」
- 新しい発想、新しいやり方、まずはやってみよう！という意欲的・前向きな自分であり続ける。
- 一人で抱え込まない、何でも話せる職員室づくり。互いの良さを認め合い協力し合う。
- 自己管理の徹底及びワーク・ライフ・バランスの推進

- コミュニケーションのスキルアップ
- 分掌間の連携
- 研修への取組状況
- 違法行為ゼロ
- 時間外・休日労働の状況
- 年次休暇の取得状況

生徒にとって、本校に入学して良かった。 保護者にとって、本校に入学させて良かった。 教職員として、本校に勤務して良かった。